

## ●出丸地区 まちづくり懇談会記録

平成24年6月29日(金)午後7時～9時 (出丸公民館)

### (1) 新庁舎建設について

	質問事項	答弁要旨	答弁者
①	新庁舎は盛土をして高い場所に建設するなど、水害に備えたものとしてほしい。	ご意見を踏まえながら、今後、庁舎建設検討委員会で検討していきます。	町長
②	庁舎建設基本構想の内容について、また、ハザードマップにある液状化に対する考え方を教えてほしい。	基本構想は町のホームページで公開しています。庁舎の規模については、国交省の基準を基に算定すると約4,800m <sup>2</sup> となり、庁舎建設検討委員会で詳細を検討しているところです。なお、具体的な建設場所は、今後の基本計画に盛り込んでいきます。 また、地震時における町内の液状化の状況については、防災ハザードマップに記載しております。庁舎建設の際には参考にしてまいります。	政策推進課長

### (2) 自主防災組織の育成支援について

③	<p>若い人たちの中で都内に勤めている方など大震災の時は帰宅できません。また、自主防災組織に入加入していても名前だけでは意味がありません。</p> <p>地元には60代、70代で元気な方がいるので自主防災組織のメンバーに加えてみてはどうか。</p>	<p>町が考えている自主防災組織もご意見と同様です。自警団は昭和30年代に区長さんが先頭にたって組織され、消火活動が主な活動でした。</p> <p>現在は常備消防や消防団も充実していることから、これからは消火活動だけではなく、災害対応や弱者対策が主となる自主防災組織への改組が必要であり、若い方でなくともよく、組織としては班単位など小さい単位でもよいと思います。</p> <p>災害弱者の支援を地域でお願いしたいというのが大きな目的のため防災カードなどを活用し、いざという時には手を差し伸べていただきたいと思います。</p>	町長
④	<p>自主防災組織について、どこまでを目標として組織すればよいのか。</p> <p>また、区長は1年で交代してしまうため、申し送りがうまくいかない場合もあるので、区長ではなく別の組織の方を代表としたほうが良いのではないか。</p>	<p>今年度、町内10地区でモデル的な自主防災組織の立ち上げを目指しております。自主防災組織についての考え方は地域の実情によっても異なります。地域によっては可燃式ポンプのないところや、地域の消火力として今後も可燃式ポンプを維持したいと考えている地域があります。いずれにしても、災害に対応していくため、まずは組織化することが第一であると考えておりますので、全地区で組織化ができるよう支援していきます。当面は、区長さんを中心に組織化していただければと考えております。</p>	総務課長
⑤	<p>自主防災組織の終局の目的は人命の救助、災害弱者の救助や救済だと思います。</p> <p>自警団員や区長は、昼間地元にいないので災害の際は頼りにならない場合もあります。隣人のこともよく知らない現状で災害弱者を有機的に結びつけるには、元気な70代の方などにお願いしてはどうか。</p>	<p>川越市では女性が主体となる自主防災組織があるほか、定年退職し地元にいる方々が加入して災害弱者の対策をしています。</p> <p>組織の在り方については地元で相談しながら進めていただきたいと思います。</p>	総務課長

### (3) 各種保健事業について

⑥	以前、特定健診は各公民館単位で実施されていましたが、最近では保健センターや町民会館で実施しているのはなぜか。	今年は7月4日からコミセンとフラットピアで実施します。実施方法は毎年工夫しておりますが、昨年度は公民館でも実施しましたが受診率が低く、費用がかかったという経緯もあり今年度は公民館での実施は見送りました。今後要望があれば地域に出向いて公民館等での実施の機会も設けたいと思います。	町民生活課長
---	--	--	--------

### (4) 個別テーマ「若者の定住促進について」

⑦	川島町は年配者にとって住みづらいイメージが子どもたちにも伝わって若者が離れてしまうのではと思います。 特に出丸地区は交通の手段がなく、70代～80代になってからの車の運転は困難です。 定住促進については新たな人を呼び込むのではなく、いったん川島町を離れた人を呼び戻すためインパクトのあるアイデアを希望します。	川島町から出て行った人たちを呼び戻し、帰ってきてもらうことはポイントであると思います。川島町に住んでいた方が戻ってきて家を建てるについてには、現在の法律の中でも十分対応できます。なお、現在では市街化調整区域で、町外にお住まいの方が住宅建設がしやすくなるような施策も検討しています。 また、若者座談会でも様々な意見があり、特に交通に関する意見が多くありましたので、今後交通対策を検討していきます。	町長 まち整備課長
---	--	--	--------------

### (5) その他

⑧	通学路に白線を引くと車がスピードを落としたり、運転者が子供を発見しやすいなどの効果がある。また、子供たちが線に沿って歩くようになるので、交通安全のために今後増やしていただきたい。 また、バス停までの道のりが暗い箇所があるので、防犯灯を増やしていただきたい。	通学路や防犯等については、区長さんとよくご相談いただき、該当する箇所を町に要望していただきたい。	町長
⑨	大雨の時に排水が機能せず、自分の敷地に水が入ってきてしまいます。町に相談したところ、ヒューム管で整備してくれるという話がありましたが、1年くらいですぐに詰まってしまうのでU字溝での対応ができないか。	すべての場所をU字溝で実施できるわけではありませんが、現場をよく確認させていただきます。なお、地元で対応できる部分はお願ひいたします。	まち整備課長